

慶祝国慶62周年

程永華大使が出席・祝辞

東京華僑総会で慶祝聯歡会

祖国—中華人民共和国の成立62周年を祝う東京華僑総会の慶祝聯歡会が九月二十五日(日)午後一時半から東京華僑会館七・八階ホールで賑やかに開催され、来賓 僑胞併せておよそ三〇〇名が国慶62周年を共に喜び祝った。

これには程永華駐日大使はじめ曲来璞・呂克儉両公使、劉亜明参事官兼総領事および鄧偉・呂小慶両参事官ら中国大使館の代表が招かれて出席したほか、(財)日中友好会館の村上立躬理事長、日本国際貿易促進協会の片寄浩紀専務理事、(財)日中協会の藤田誠史・千葉克衛氏ら日中友好団体の代表と朝鮮総聯中央本部の徐忠彦国際・統一局長および李泰栄国際局副局長、韓国民団中央本部の丁榮哲文教局長が来賓として招かれた。また、横浜華僑総会の謝成発会長、長野県華僑総会の王昌勝会長、千葉県華僑総会の章健二会長ら近隣県僑会の代表および日本新華僑華人会の陳玳珩会長、中国留日学生後援会生の代表らも出席した。

司会の陳益謙氏が開会を宣言すると、沈静珍さんの指揮、東京華僑婦女会コーラス班および僑胞有志のリードで参会者に

よる中国国歌の斉唱が行われ、国慶祝賀の雰囲気は大いに盛り上がった。主催者を代表して挨拶に立った廖雅彦会長は、まず、程大使はじめ来賓各位の臨席のもとで国慶62周年を祝うことができ誠に光栄であると謝意を表したあと、東日本震災被災地支援活動に対する僑胞の支持協力に礼を述べ、更に今回の災害に対する祖国と中国大使館の僑民保護、僑胞への見舞いと激励に改めて感

謝の意を表した。廖会長はまた、辛亥革命百周年記念活動に触れる中で、辛亥革命以後の中華民族の統一、社会主義祖国の建設という歴史の発展の中で、在日華僑の伝統精神を引き継いで行こうと強調した。

(廖会長の挨拶別項) 来賓を代表して挨拶した程永華大使は、中国は並々ならぬ道を歩み、改革開放以後、中国の特色ある社会主義を発展させること、国際金融危機の厳し

い中であって、経済成長率9%台の発展を遂げ、世界第二の経済大国となった。発展途上において困難があり、地域、所得、都市と農村、環境、エネルギー等々多くの問題を抱えているが、中国は第12次5カ年計画に取り組み、産業構造の転換等々に一層力を入れ、全面的に中国の特色ある社会主義、調和と安定の社会建設に邁進していることを紹介し、こうした祖国の発展は永年日本に住

む僑胞の貢献と切り離すことが出来ない、と強調した。程大使はさらに三月十一日発生の東日本大震災について、日本は多大な被害を被り、在日華僑華人も被害を被ったが、華僑同胞は助け合おうという愛の行動で被災地同胞と日本人のびとを助け、被災地復興に大きな貢献をした、と語り、「このことに対し、みなさんに謝意を表します」と述べた。程大使はこの一年來、在日華僑華人団体の体制、組織作りに進展があったことを評価し、次のように述べた。

新鴻華僑華人総会の成立や福島に華僑華人総会の準備会が出来たことや全日本華僑華人中国平和統一促進会が新体制のスタートを切ったことは喜ばしいことです。この一年來、私は各地を回って

名古屋の春節祭、大阪の中秋祭など華僑同胞が助け合って地域に貢献し、中国と日本の文化を広める役割を発揮しているのを見てきた。

程大使は挨拶の最後に「来年は中日国交正常化40周年を迎えます。私たちは力を合わせて中日両国の戦略的互惠関係をより発展させていきたい」と僑胞に呼びかけた。慶祝聯歡会では古稀を迎えた僑胞に祝意と敬老の意を表すため、譚佐強、張文統、呉紀子、陳順琼、盧武樂さんの五氏に廖会長よりお祝いの記念品が贈られ、程大使との記念撮影が行われた。参会者たちは洪維成顧問の発声で中華人民共和国の国慶62周年を祝って乾杯し、「歌唱祖国」を合唱したあと、料理に舌鼓を打ち、グラスを傾けてたがいに国慶節を祝いたい、楽しい歓談の時をすごした。

司会の陳益謙氏が開会を宣言すると、沈静珍さんの指揮、東京華僑婦女会コーラス班および僑胞有志のリードで参会者に



9月25日昼開催の東京華僑総会主催の国慶62周年慶祝聯歡会には300余名が出席した。写真は聯歡会の冒頭、中国国歌斉唱をリードする東京華僑婦女会のコーラス班



民族舞踊を熱演した横浜橋校の校友生たち



古稀の祝福を受けた僑胞が程大使(右一)と記念撮影